

修士論文・卒業論文の書式について

1 論文の書式

論文は、A4 版で、コピー用紙程度の上質紙に印字すること。書式は、過去の修士論文、卒業論文等を参考にし、指導教官の指示を仰ぐこと。

1.1 使用言語

論文を記述するのに使用する言語は、日本語または英語とする。

1.2 ページのレイアウト

製本その他読みやすさ等を考慮して、マージンは大きめにとること。

上マージン	25mm 程度
下マージン	30mm 程度 (ページ番号もマージン内に含む)
左マージン	35mm 程度 (製本の都合上 30mm 以上は必要)
右マージン	25mm 程度

1.3 文字の大きさ

読みやすさ等を考慮して、極端に小さい文字や大きな文字はさけ、行間は十分にあけること。文字サイズ 11～12pt, 1 ページ 30 行で日本語の場合は 1 行あたり 40 文字程度が目安となる。

1.4 製本方法

提出する論文は学科事務室で配布するバインダを用いて製本する。(バインダは、修士論文の場合は提出前に事前に、卒業論文の場合は卒業論文概要提出の際に受け取ること。) ただし、綴じ穴は製本の都合上 2 穴、穴の位置は紙の端から 12mm とする。

バインダーの表紙および背に、cover1.tex および spine.tex を用いて作成した表紙、背表紙を貼り付けること。また、論文の最初のページに cover2.tex で作成した中表紙 (指導教官の押印が必要)、次のページに abst.tex で作成した概要 (この綴じ込む分については指導教官の押印は不要) を綴じ、それ以降に論文本体を綴じること。

1.5 提出について

提出についての詳細は修士論文は Mschedule.pdf, 卒業論文は Bschedule.pdf を参照のこと。